



## F I S 公認ウイスラーカップ 世界大会へ出場

当別キッドレーシング  
藤田 <sup>わたる</sup>航路くん (太美西)



小学校2年生から当別キッドレーシングでアルペンスキー競技に励む藤田くん。持ち前のガッツ溢れる滑りには無限の可能性を秘めています。

(関連記事、教育委員会ページ)

### 夢は叶う 今年の目標は全国制覇！

「今シーズンの始めにお父さんと全国大会で優勝すると約束をしたので、絶対に勝ちたかった」と力強く話す藤田君。

「失敗を繰り返さないように一本一本考えて滑る」と少ない時間を有効に使った練習が結果につながりました。

北海道で2位に入ると推薦で全国大会に出場できるのですが、2月に入り調子を落とし、お父さんも「焦りを感じた」と振り返ります。

しかし、走り込みや柔軟体操の体力づくりを欠かさずに行ったことで調子は上向きました。

最終戦には、39度の発熱にもかかわらず

ならず出場し、力強い滑りで4位の成績を残し、全道2位で全国大会への切符を手に入れました。

### 全国大会ではとにかく攻めることを考えた

全国大会の様子を「D」が雰囲気盛り上げたり観客も多くて北海道とは違う独特の雰囲気があった」と笑顔で話してくれました。

1日目が終わったところで、ライバルがコンマ差でひしめき合う中で2位という成績にも「自分の力を出し切れれば勝てる。小学校生活最後の思い出になるように思い切って滑ろう」と最後まで攻めの滑りを貫きました。

結果は、種目別でコンビが2位、大

回転で3位、コンビと大回転を合わせたタイムの総合で1位を獲得し世界大会への出場が決まりました。

### 世界大会はどんな選手がいるのか楽しみ

「強い選手が出場している大会の方が力を発揮することができる。悔いを残さないようにレースを楽しむことができればいい。3種類にエントリーしているけど、スラロームの種目で優勝を狙いたい」と体が大きい選手が揃う世界大会にも強気で向かって行きます。

「中学生になっても、ライバルと競い合いながら成長できればいい」と話し、これからも活躍の場を広げます。

### 人の動き 3月1日現在 ( )は前月との比較

人口	19,654 人	(23人減)
世帯	7,820 世帯	(1世帯減)
男	9,606 人	(15人減)
女	10,048 人	(8人減)



### 今月の表紙

燃えている薪のすぐ横に生地を入れ、焼け具合を見ながらの作業には、参加者も最初は戸惑い気味でしたが、皆次第に上達。出来栄も最高のスウェーデンパン講習会でした。(赤れんが6号「ふれあい倉庫」3月25日)